

一連の品質問題及びリコールにおける安全及び品質に対する信頼の回復に向けて

このたびの当社が引き起こした一連の品質問題及び、リコールにおいてお客様及びお取引先様、その他すべてのステークホルダーの皆様に対しご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを改めまして深くお詫び申し上げます。

再発防止策等の詳細は、当社プレスリリース「当社製品「FocusRay」に関する製品品質に関するお詫びと今後の対応について（第一報）」に記載のとおりでございますが、当社は本件一連の問題の原因を次のように認識しております。

1. 会社全体として、安全及び品質に対する意識が欠如していたこと
2. 発注時の誤りに対する対処が不適切であったこと
3. 発注時のデータの取り違い自体を防ぐ仕組みがなかったこと
4. お客様からのご要望への対応が担当者への過度なプレッシャーとなり、適切な判断を妨げる社内環境が生じていたこと

また、すでに出荷され、本件一連の品質問題が表面化する原因となった FocusRay 有線モデルの一部ロットについては、2026 年 9 月 4 日付で経済産業省にリコールの届け出を行い、本日時点で相当数の回収を行っております。当社といたしましては、全数の回収に向けて多角的な施策に取り組んでまいり所存です。

そして本日、リコールによる修理品のご返送及び通常出荷を再開いたしました。これに伴い、安全及び品質に対する取り組みを改めて確認し、お客様及びステークホルダーの皆様にお詫びを申し上げるため、本文書を公開いたします。

一連の問題の発生及びリコールの実施に至ったことは、安全・品質を最優先すべき製造事業者としてあるまじきことであり、深く責任を痛感しております。また、問題発生以降のお問い合わせ件数の増加に人員体制が追いつかず、お客様にさらなるご不安をおかけしたことにについても、会社組織を統括する者として重く受け止めております。

当社は 2026 年 3 月 18 日の Kickstarter における支援募集開始時より、日本企業であることや、製品性能、製品品質、製品安全性に多くのご期待をいただき、多くのご支援を賜りました。それらのご期待にお応えすることは、当社の基本的な務めです。その務めを果たせなかったことで、今後当社がその務めを果たせるのかが問われていることについて、慚愧に堪えません。

安全と品質を最優先とする考えを全社に浸透させ、そうした思いを持つ企業風土を醸成

すること。第一報で公表した再発防止策を、全社を挙げて徹底すること。そして、その結果としての製品を世の中に送り出すことで、当社の品質と安全性に対するご懸念を払拭すること。これらが、当社及び経営陣として当然に果たすべき責任であると考えております。

本件に際しての取り組みが一時的なものに終わらず、恒久的かつ組織的に根付くよう、経営陣を含め全力で取り組んでまいります。取り組みとその成果を反映した製品を通じて、着実かつ誠実に行動を積み重ね、信頼の回復に努めてまいります。

お客様及びステークホルダーの皆様におかれましては、どうぞ厳しい目でご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026 年 10 月 23 日

株式会社 AoharuNEXT

代表取締役社長 森山 璃音